

演題番号 23	新型コロナウイルス感染症による面会制限が療養生活に与える影響 ～アンケート調査結果に基づいた改善策の検討～
発表者	安芸太田病院 看護師 富樫 華奈
共同発表者	秋田 あかね

新型コロナウイルス感染症蔓延下での面会制限が、患者にどのような影響を与えているのか問題点を明らかにし、病院に望まれている対策や課題を検討すべくアンケート調査を行った。アンケート内容の概略として、患者背景や面会制限により不自由を感じる点に関する事、病院に希望する対応策に関する多肢選択式質問。面会制限下で不便を感じている点、病院に望む対応、既存の対策方法への意見など自由記述式の質問を行った。その結果当院では圧倒的に高齢者の割合が多く、複数回の入院歴のある患者が多い。面会制限に対してある程度は許容しているものの社会的、精神的側面に不満を感じており、改善策としてテレビ電話や医療従事者によるカウンセリングが有用と考える患者が多かった。自由記述式質問では患者の具体的な悩みや希望を聴取した。当院ではオンライン面会を行うなど対応を進めているが、今後面会制限が長期化する可能性が考えられ、看護ケアの一環としてさらなる対応を考えていく必要が考えられる。

MEMO
